

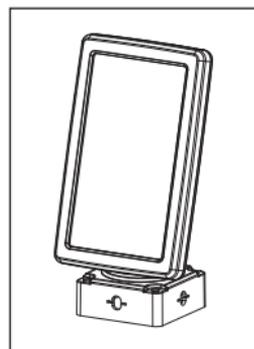
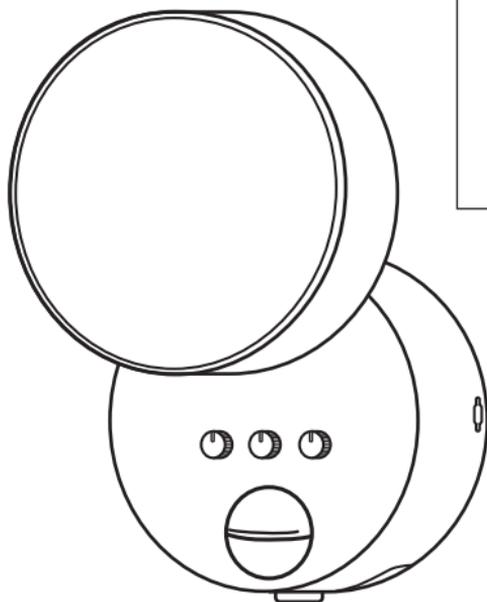
## LED センサーライト (1 灯型)

【ソーラー電池式】 <屋外用>

保証書付

保護等級: IP65(防塵・防水)

### DSL05SD1(S)



このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに保管してください。

**ご注意** 本製品のご購入後は、必ず晴天で 2日間以上、初期充電してからご使用を開始してください。詳しくは「初期充電方法」(➡ 16 ページ)をご覧ください。

# 目次

## はじめに

目次	2
安全上のご注意	3
リチウムイオン電池について	9
内蔵充電電池について	11
譲渡 / 廃棄または内蔵充電電池について	12
内蔵充電電池の交換について	12
内蔵充電電池のリサイクルについて	12
セット内容	14
各部の名称	15
ご使用前に	16
初期充電方法	16
設置する前に	17
センサーについて	17
ソーラーパネルについて	19
本体とソーラーパネルの可動範囲	20
センサーの検知エリア	20
本体とソーラーパネルの設置	22
取付方法	22
壁面に取り付ける場合	23
マストまたは柱に取り付ける場合	27
横向きのマストまたは柱に取り付ける	31

## 動作 / 設定

機能の設定	32
点灯開始照度(明るさ感度)の調整	32
フラッシングモードの設定	32
点灯時間の設定	33
検知範囲の調整	33
動作テスト	35

## その他

故障と判断する前に	36
仕様	41
外形寸法図	43
保証書	裏表紙

# 安全上のご注意

お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。

 <b>警告</b>	誤った取り扱いをすると、死亡や重傷を負うなど重大な結果に結びつく可能性があるもの。
 <b>注意</b>	誤った取り扱いをすると、傷害または家屋・家財などの損害に結びつく可能性があるもの。

 一般的な注意事項	 接触禁止	 めれ手禁止	 プラグを抜く
 一般的な禁止事項	 分解禁止	 指示を守る	

## 警告

-  **指定のソーラーパネルを使用する**  
付属のソーラーパネルをご使用ください。付属のソーラーパネル以外と接続すると、火災や感電、故障の原因となります。
-  **接続コードに無理な力を加えたり、傷つけたりしない**  
接続コードは、傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、重いものを載せたり、加熱したり(熱器具に近づける)、引っぱったりしない。  
傷んだとき(芯線の露出、断線など)は、そのまま使用すると火災や感電などの原因となりますので、ご使用を中止してください。
-  **内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだりしない**  
火災や感電、故障の原因となります。

## 警告



**ぬれた手でさわらない**

感電の原因となります。



**雷が鳴り出したら本体や接続コードに触れない**

感電の原因となります。



**分解、改造はしない、またライト部に可燃物製のフードや囲いなどをつけない**

感電・火災・故障の原因となります。



**点灯しているライトを直接見ない**

視力障害の原因となります。



**ライトが点灯中、また消灯後もしばらくの間は、絶対に素手で触れない**

ライト部は熱くなっていますので、やけどの原因となります。



**お手入れは、TIMEツマミを OFF にしてから接続プラグを本体から抜き、しばらくしてライトの温度が十分下がったあとで行う**

感電ややけどの原因となります。



**異常があるときは、すぐに使用を中止する**

次のような異常時は、TIMEツマミを OFF にしてから接続プラグを本体から抜き、お買い上げの販売店、工事店、または弊社カスタマーセンターに連絡してください。

- ・煙がでる、変な臭いがする
  - ・内部に水や昆虫、物が入った
  - ・異音が鳴る
  - ・接続コードや本体の外部が破損、劣化している
- 火災、感電、けが、故障の原因となります。



**接続コードに水をかけたり、濡らしたりしない  
また、接続コードの上に水や薬品の入った容器を置かない**

水や薬品が中に入った場合、火災や感電の原因となります。また、ペットなどの動物が接続コードの上に乗らないように注意してください。尿や糞が中に入った場合、火災や感電、故障の原因となります。

## 警告

-  万一、本製品を落としたり、破損したりした場合、**接続プラグを本体から抜いて販売店に連絡する**  
そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
-  **接続プラグを本体から抜くときは、コードを引っ張らない**  
コードが傷つき、火災や感電の原因となります。  
必ず接続プラグを持って抜いてください。
-  **本製品を移動する場合、必ず接続プラグを本体から抜く**  
コードが傷つき、火災や感電の原因となります。
-  **次の場所に設置しない**
  - 強度の不足する場所、不安定な場所。  
落下や転倒によるけがの原因となります。
  - 継続的に振動が発生する場所(工事現場など)  
落下や転倒によるけがの原因となります。
  - 人や車両の通行の妨げになる場所。  
ぶつかったり、接触したりして、けがや破損の原因となります。
  - 熱器具の付近や高温になる場所、湿気やホコリの多い所。  
火災や感電、故障の原因となります。
  - 塩害や腐食性ガスが発生する場所。  
取付部が劣化し、落下によるけがや事故、故障の原因となります。可燃性ガスが大気中に漂っていると、爆発によるけがの原因となります。
  - 可燃物のそば。
  - わらびき屋根の軒下。
  - ベランダなど、洗濯物や布団などが本製品に触れる場所。

## 警告

### 本製品を壁面に取り付けて使用するときには、堅固・確実に取り付ける

不安定な場所、振動の多い場所、強度の弱い壁（石膏ボード、ALC（軽量気泡コンクリート）、コンクリートブロック、ベニヤ板など）には取り付けないでください。

落下により、けがの原因となります。

### マストに取り付ける場合は、ステンレスバンドがたるまないようしっかりと固定する

固定が不十分な場合、落下により、けがの原因となります。

### 乳幼児の手の届く場所に付属品などを置かない

乳幼児が付属品などを飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

### 設置、点検時は次のことに注意する

・TIMEツマミをOFFにし、接続プラグを抜いてから作業する。

感電やショート・誤配線による火災の原因となります。

・足場と安全を確保し、強風、雨、嵐、雪、霧などの天候が悪い日や暗い所では、危険なので設置工事や点検をしない。

落下や転倒によるけがの原因となります。

・本体や部品、工具類を落としたり、強い衝撃を与えたりしない。

けがや故障の原因となります。

・コード類は正しく配置する。

引っ掛けると落下や転倒によるけが、故障の原因となります。

・組み立てや取り付けのネジやボルトは、締め付け力（トルク）指定がある場合は、その力（トルク）で締め付け、確実に固定する。

落下や転倒によるけがの原因となります。

## 警告

- 台風のアトや積雪のアトなどは、取り付けに緩みや異常が生じることがあるので注意する。  
点検はお買い上げの販売店、工事店、または弊社カスタマーセンターにご相談ください。そのままにすると破損して、けがや故障の原因となります。
- 取り付けた本製品にぶら下がったり、無理な力を加えたりしない。

落下による破損、けがの原因となります。

### 土中埋設する場合、接続コードは、電線管などを使用して防水処理をする

絶縁劣化により、感電の原因となります。

### 取り付け後、確実に固定されているか、またときどきぐらつきがないかを確認する

固定が不十分な場合、落下によるけがや感電、故障の原因となります。

### 接続コードをステップルなどで固定する場合は、被ふくが変形しないように固定する

ショートや断線により、漏電、感電、火災、故障の原因となります。

## 注意

-  **水没する場所には取り付けない**  
完全防水ではありません。水没する場所や湿気の多い浴室などでは使用できません。
-  **お手入れの注意**  
ベンジンやアルコール、シンナーなどは使わず、乾いた布で乾拭きしてください。溶けたり、変形や変色の原因となります。
-  **定期的に点検する**  
取り付けが緩んだり、取付用ネジが錆びたりすると、落下による破損、けがの原因となります。
-  **電波を発生する機器の近くに設置しない**  
電波によりセンサーが誤動作するおそれがあります。
-  **ライトの角度は、可動範囲以上に曲げない**  
無理に曲げた場合、故障の原因となります。
-  **本製品にホースなどで直接水をかけない**  
火災や感電の原因となります。

# リチウムイオン電池について

本体には、内蔵リチウムイオン電池（以下、内蔵充電電池、またはリチウムイオン電池）を使用しています。

## 危険

-  **次のことをしない**
  - 水、海水、ジュースなどで濡らさない
  - ストーブなどの熱源のそばに放置しない
  - 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない内蔵充電電池に組み込まれている保護機能が壊れると、異常な電流や電圧で充電電池がショートし、発熱、破裂、発火の原因となります。
-  **本体を焼却処分したり、加熱したりしない**

内蔵充電電池の絶縁物が溶けたり、保護機能を損傷するだけでなく、発熱、破裂、発火の原因となります。
-  **釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしない**

内蔵充電電池が変形してショートし、発熱、破裂、発火の原因となります。
-  **内蔵充電電池を分解したり、改造したりしない**

分解、解体すると金属端子が露出してショートし、発熱、破裂、発火の原因となります。また、内蔵充電電池に組み込まれている保護機能が壊れた状態で充電すると、発熱、破裂、発火の原因となります。
-  **火のそばや炎天下の車内、直射日光の当たる場所など、高い温度や高い湿度となる場所で充電したり、放置しない**

高温になると危険を防止するための保護機能が動作して充電できなくなったり、保護機能が壊れて異常な電流や電圧で充電され、電池を漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

## 危険

-  **本体から液体が漏液して目に入ったときは、すぐに水で洗い、医師の診察を受ける**

内蔵充電機の電解液が漏液して液が目に入ったときは、こすらずに水道水などのきれいな水で十分洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。放置すると液により、目に障害を与える原因となります。

-  **本体の異常に気付いたら、ただちに使用を中止する**  
使用中、充電中、保管時に、異臭や発熱、変色、変形など、今までと異なることに気がついたときは、絶対に使用しないでください。内蔵充電機が発熱、破裂、発火する原因となります。

-  **電子レンジや高圧容器に入れない**  
急に加熱されたり、密閉状態が壊れたりして発熱、破裂、発火の原因となります。

-  **充電中、可燃物を上に載せたり、覆ったりしない**  
内蔵充電機が発熱、破裂、発火する原因となります。

-  **充電するときは、弊社指定の充電条件を守る**  
過大電流で充電されたり、充電制御ができなかったりして、電池を漏液、発熱、発火させる原因となります。

-  **静電気が発生する場所では使用しない**  
内蔵充電機には、危険防止のため保護機構が組み込まれています。静電気が保護機構に損傷を与え、発熱、破裂、発火の原因となります。

-  **本体に磁石など磁気を持っているものを近づけない**  
磁気の影響を受けて動作が不安定になることがあります。

-  **内蔵充電機の異臭、発熱、その他異常があるときは使用しない**

お買い上げの販売店、工事店、または弊社カスタマーセンターにご相談ください



危険



本体から漏液して液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流す  
皮膚がかぶれる原因となります。

## 内蔵充電機について

内蔵充電機には寿命があります。充電回数を重ねたり、時間が経過したりするにつれ内蔵充電機の容量が少なくなり点灯回数が減っていきます。

【ご購入時の満充電での点灯回数の目安は 10秒点灯で 500回】  
点灯回数が大幅に減ったときは、内蔵充電機の寿命です。弊社カスタマーセンターへお問い合わせください。(➡ 12 ページ)



- 充電機の寿命は、保管方法や使用状況、環境などにより異なります。
- 周囲の温度が0℃～+45℃の環境での充電を推奨します。内蔵充電機の特長上、推奨の温度範囲以外では保護機能が働き充電が停止する場合や効率良く充電できない場合があります。

# 譲渡 / 廃棄または内蔵充電電池について

## 内蔵充電電池の交換について

内蔵のリチウムイオン電池は、お客様で交換はできませんので、交換をご依頼の際は弊社カスタマーセンターへご相談ください。お客様自身で本体を分解して内蔵充電電池を取り外さないでください。

## 内蔵充電電池のリサイクルについて

内蔵のリチウムイオン電池はリサイクルが可能で貴重な資源です。使えなくなった本体は廃棄せず、輸送会社に「リチウムイオン電池」を含んだ内容物であることを伝え、輸送会社の指示にしたがって梱包のうえ、宅配物の配達記録が残る方法にて、下記までご送付ください。弊社が責任をもってリサイクルいたします。



### ■送付時のご注意

- 配送料はお客様の負担となります。着払いでご送付いただいても受領いたしかねます。
- 本製品以外は対象外です。
- 回収対象外品が混入していた場合は、お客様負担にて返送させていただきます。
- 回収品のお引き渡し（輸送会社が受領したとき、または郵便物として集荷されたときを含む）により、回収品の所有権は弊社に転じるものとします。また、回収品のお引き渡し後における回収中止、回収品の返却には応じられません。

〒651-2241 神戸市西区室谷1-2-2  
DXアンテナ株式会社 カスタマーセンター  
ナビダイヤル: 0570-033-083

携帯電話・PHS・IP電話からもご利用いただけます。

上記ダイヤルがご利用いただけない場合：  
050-3818-9016

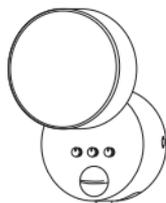
※ナビダイヤルの料金は固定電話からは全国一律料金でご利用いただけます。

## ● 其他のご注意

- 本製品は犯罪防止システム品ではありません。自動照明、一般照明、来客、威嚇照明として使用する目的以外では使用しないでください。空巢、強盗、変質者の侵入などによる損失、損害などが発生しても、当社は一切責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- 接続コード（約5m）を延長したり、切断する場合は、お買い上げの販売店、工事店にご相談ください。
- 本製品は時間の経過や使用環境により劣化します。時間の経過とともに、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。
- ソーラーパネルが汚れると充電電力が低下することがあります。定期的に点検・清掃をおこなってください。
- 日照時間の少ない日が続くと充電量不足になることがあります。初期充電を行い充電量を回復させてから使用してください。
- 安全のため低温や高温の環境では充電が停止する設計になっています。充電不足になった場合は初期充電を行い充電量を回復させてから使用してください。

# セット内容

本製品には次のものが入っています。すべてが揃っているかを確認してください。



LED センサーライト: 1 台



ソーラーパネル: 1 台  
(コード長:約 5m)



壁面取付用ネジ: 4 本  
( $\phi$  4× 35mm)



コンクリート  
アンカー: 4 本



マスト取付用クランプ:  
黒 1 個、シルバー 1 個  
(適合マスト径:  $\phi$  30 ~ 85mm)



マスト取付用 L 字金具:  
2 本



蝶ナット: 2 個  
保護キャップ: 2 個



本体用シリコンパッド:  
1 個



クランプ用  
シリコンパッド:  
2 個

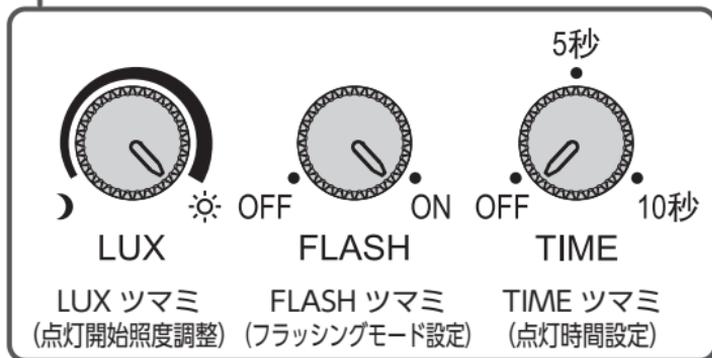
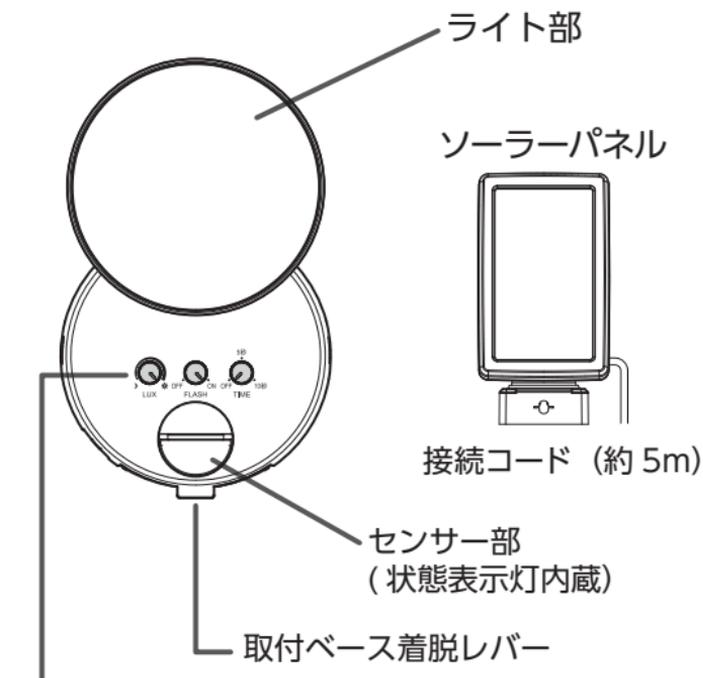


ソーラーパネル用  
シリコンパッド:  
1 個



取扱説明書: 1 冊

# 各部の名称



# ご使用前に

本体の内蔵充電電池は製造時に十分充電をしておりますが、自然放電するためお買い上げ時に充電不足になっている場合があります。製品のご購入後は必ず晴天で2日間以上、初期充電してから使用を開始してください。

※ TIMEツマミを OFFにした状態で充電してください。

## 初期充電方法

- 1 TIMEツマミを OFFの位置にしてください。
- 2 ソーラーパネルの接続コードのプラグを本体にしっかり差し込みます(⇒ 24 ページ)。
- 3 充電を開始します。

※充電を開始すると充電表示灯が点滅します。

状態表示灯について

表示灯	充電状態
5秒に1回点滅	充電残量少
点滅(低速)	充電中
点滅(高速)	検知時
消灯	充電不足



- 4 2日間以上経過後にTIMEツマミを5秒または10秒の位置にし、使用を開始してください。

※季節、天候、地域により充電時間が異なります。

使用中に充電量不足になった場合も同様に初期充電を行ってください。

# 設置する前に

事前に下記の「センサーについて」を参考にし、設置したい場所に仮固定してください(設置場所によっては誤動作などの原因となります)。取付高さは、1.8～2.5mの間に取付けてください。軒下など、直接風雨の当たらない場所をお勧めします。

## センサーについて

モーションセンサーは PIR(パッシブインフラレッド)方式の赤外線センサーで、周囲の温度変化を検知します。

モーションセンサーの検知範囲(距離: 最大約 8m、検知幅: 180°)で動体や熱の動きがあった場合、センサーライトが点灯します。

検知しない

取付場所を変更してください

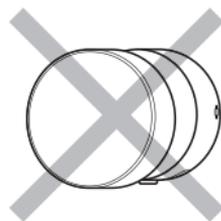
検知エリア内に障害物がある(植木、ガラスなど)

※点線部は検知しません。



ライト部がセンサー部を覆っている

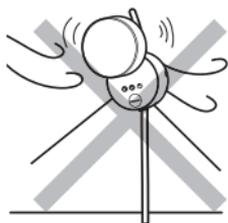
ライト部の向きを変更してください



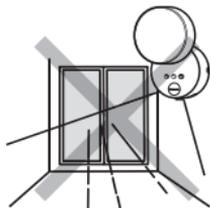
誤動作する

センサーが誤動作する恐れがあります。次のような場合は、取付場所を変更してください。

不安定なマストや壁面に取付  
(検知エリアが定まらない)



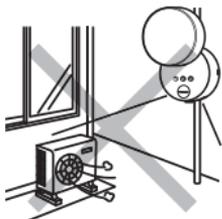
検知エリアが窓に向いている  
(風で木が揺れるため)



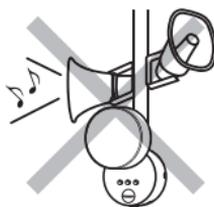
検知エリア内に洗濯物がある  
(風で洗濯物が揺れるため)



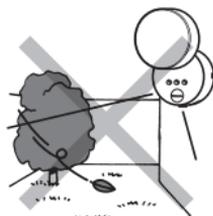
検知エリア内で急激な温度変化  
がある(エアコンの室外機、  
水、湯気、油、すきま風など)



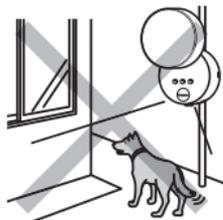
強い振動、電気ノイズの影響  
を受けやすい



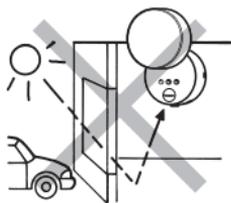
検知エリアが木に向いている  
(風で木が揺れるため)



検知エリア内に動くものがある  
(カーテン、猫、犬、自動車など)



直射光、反射光が当たる(太陽  
の反射光、夜間の自動車のヘッド  
ライト、街路灯など)



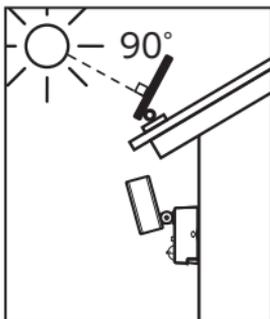
# ソーラーパネルについて

ソーラーパネルは太陽光で発電します。

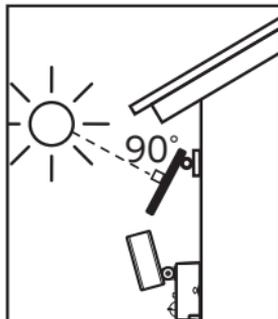
効率よく発電するために最適な場所に取り付けてください。

- ・ 直射日光が長時間当たる南向きの壁面や屋根に設置
  - ・ 樹木やビルなどで日光が遮られない場所に設置
  - ・ ソーラーパネルは日光が  $90^\circ$  に当たる角度に調整
- ※季節により最適な角度は変化しますので、充電量が不足する場合は定期的に調整してください

屋根の上に取り付け



壁面に取り付け



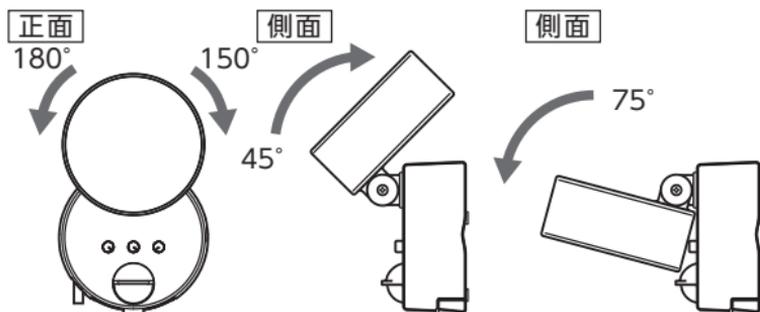
# 本体とソーラーパネルの可動範囲

本体とソーラーパネルの可動範囲は次のとおりです。

## 重要

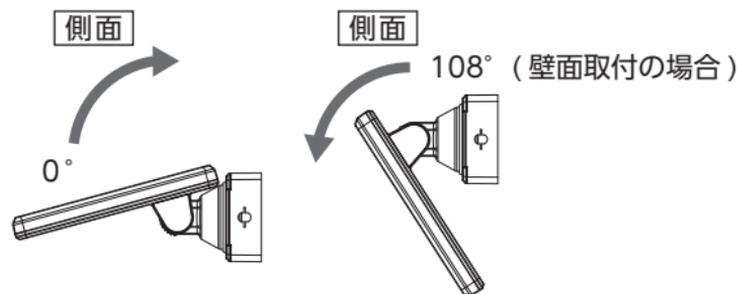
- 可動範囲以上に曲げないでください。ライト部が破損するおそれがあります。
- ライトの向きを変えるときは、本体に手を添えてください。その際、指などを挟まないようご注意ください。

## ● 本体



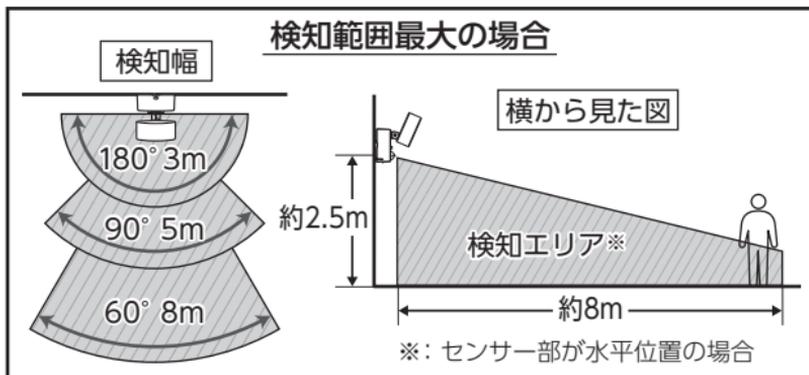
※ライト部でセンサー部を覆わないでください。

## ● ソーラーパネル



## センサーの検知エリア (推奨取付高さ: 1.8m~ 2.5m)

次ページの検知エリアは取付高さ 2.5 m の場合の目安です。また本製品を「横から見た図」よりも低い位置に設置した場合には、検知エリアが狭くなります。また、高い位置に設置した場合には、検知しにくくなります。センサーの検知エリアとセンサーライトの点灯を確認しながら設置する高さの確認をお願いします。



## 重要

- 電波を発生する機器の近くに設置しない。電波によりセンサーが誤動作するおそれがあります。
- 夏季や、衣服に雨や雪が付着している場合は、検知しにくいことがあります。
- 取付位置を変えると、検知エリアは変動します。
- センサーの前に物を置いたり、検知エリア内に鏡などの反射物があると正常に動作しない場合があります。
- センサーは、向けている壁、地面とその間を通る人や車などの動体との温度差を検知します。このため、検知エリア内に動くものがあったり、瞬間的に温度変化を引き起こす要因があると範囲が極端に狭くなったり、誤動作する原因となります。
- 本製品のセンサーは検知エリア内の温度変化を検出する方式ですが、ゆっくりとまたは瞬間的に温度が変化する場合は、検知しないことがあります。
- センサー部のレンズを傷付けたり、変形させたりしないでください。また検知範囲が狭くなったり、ホコリが付着した場合は、柔らかい布で拭き取ってください。
- センサーの真下は検知しにくいことがあります。
- センサーの特性上、センサーに対して人が正面から近く動きや検知エリア内の温度変化が小さい場合は、検知しないことがあります。

# 本体とソーラーパネルの設置

- 本製品は、壁面やマスト、柱に取り付けることができます

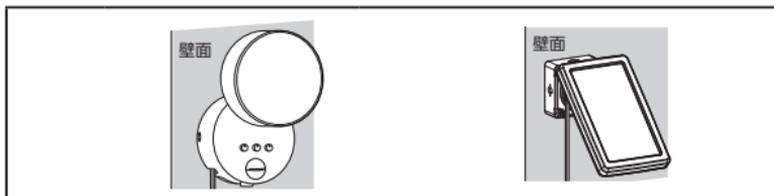
本製品を設置する前に、「設置する前に」(➡ 17 ページ)を必ず確認してください。

## 重要

- 取付ベースは、安全性と強度を十分に確保できる垂直な壁や柱などに取り付けてください。
- 設置は、必ず晴天時に行ってください。雨天時に設置すると感電の恐れがあります。
- 石膏ボードに設置する場合は、必ず内側の梁にネジがかかるように設置してください。
- 壁面に取り付けると、壁面に穴が開きます。事前に動作確認を行ってから、取り付けてください。
- 壁面に直接取り付けると壁面の強度が分からない場合は、強度がわかる工務店や工事店にご相談ください。
- 本体を取り付ける時は TIME ツマミを OFF にし、接続プラグを抜いてから作業してください。

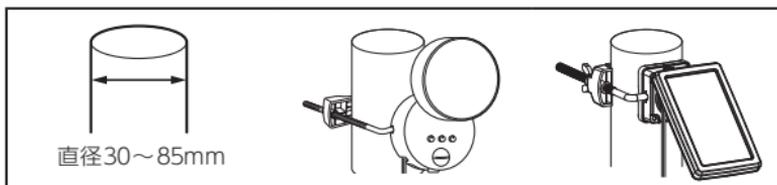
## 取付方法

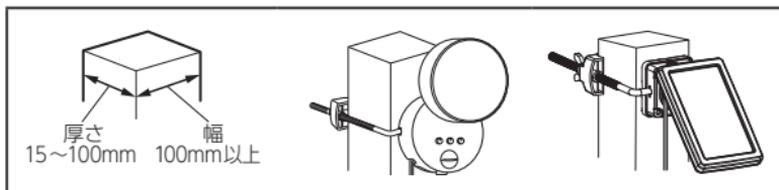
- 壁面に取り付ける場合(➡ 23 ページ)



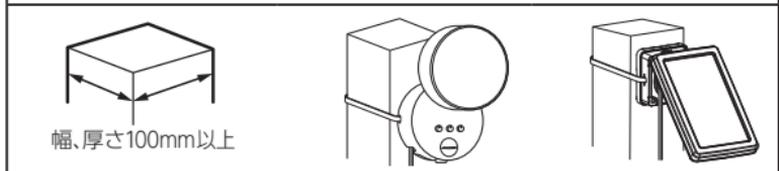
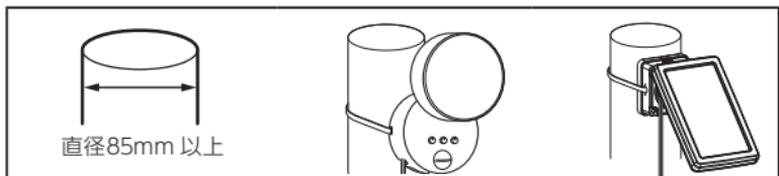
- マストまたは柱に取り付ける場合

[マスト取付用 L字金具]を使用(➡ 27 ページ)





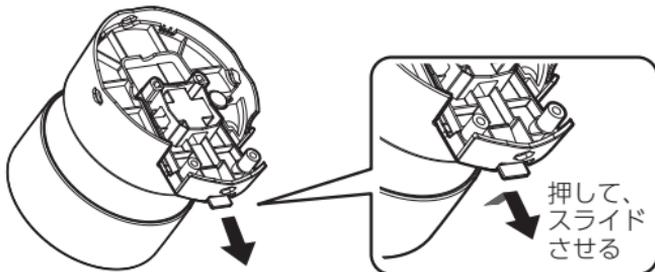
[ステンレスバンド]を使用(⇒ 30ページ)



## 壁面に取り付ける場合

### ● 本体を取り付ける

- 1 設置する前に、本製品が点灯しないことを確認してください。
- 2 本体から取付ベースを分離する  
取付ベースの着脱レバーを軽く押しながら、本体をスライドさせて本体と取付ベースを分離します。



### 3 壁面に取付ベースを固定する

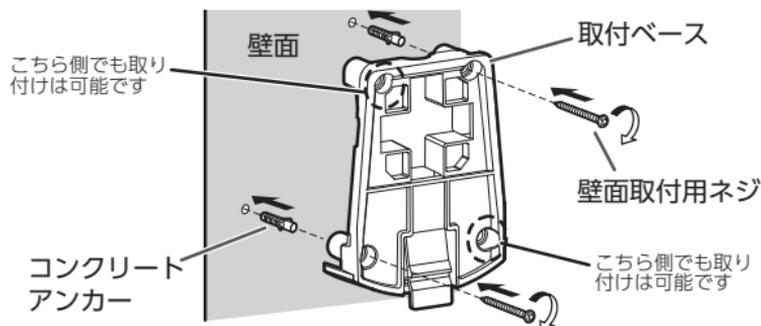
付属の壁面取付用ネジ 2本で取付ベースを壁面にしっかりと固定します。下図のように任意の対角で取り付けます。(目印に壁面取付用ネジの先端を当てて、ねじ込んでください。)

#### 重要

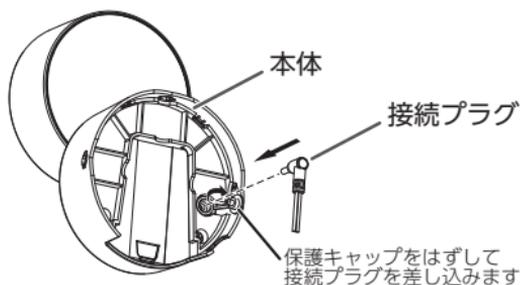
- 本体が落下しないように壁面取付用ネジで取付ベースをしっかりと取り付けてください。
- 作業するときは、取付ベースに水などがつかないように注意してください。



コンクリート面に設置する場合、あらかじめ設置場所にφ6.4mm程度の穴を開け、付属のコンクリートアンカーを打ち込んでから、壁面取付用ネジで固定してください。

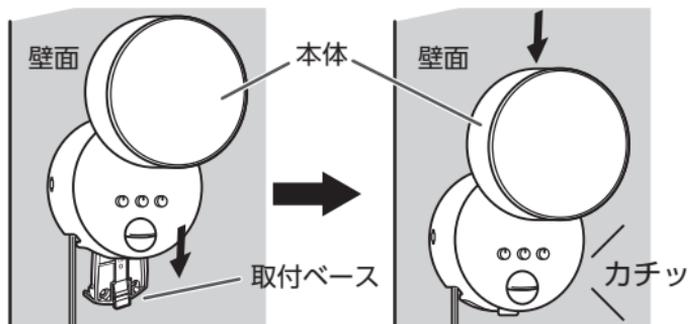


### 4 接続プラグを本体に差し込む



## 5 取付ベースに本体を取り付ける

取付ベースのガイドに沿って本体を着脱レバーがカチッと音がするまでスライドさせて固定します。



## ●ソーラーパネルを取り付ける

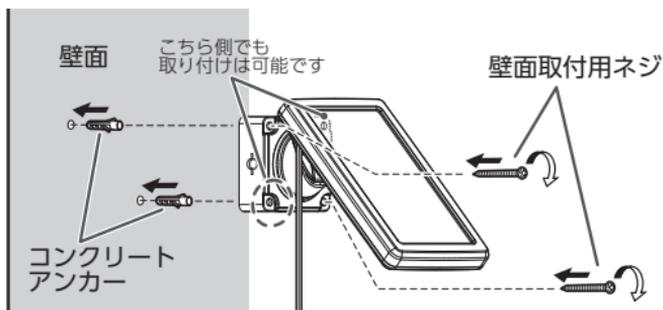
付属の壁面取付用ネジ 2本で取付ベースを壁面にしっかりと固定します。下図のように任意の対角で取り付けます。(目印に壁面取付用ネジの先端を当てて、ねじ込んでください。)

**重要**

・ソーラーパネルは接続コード(5m)が届く範囲で設置してください。



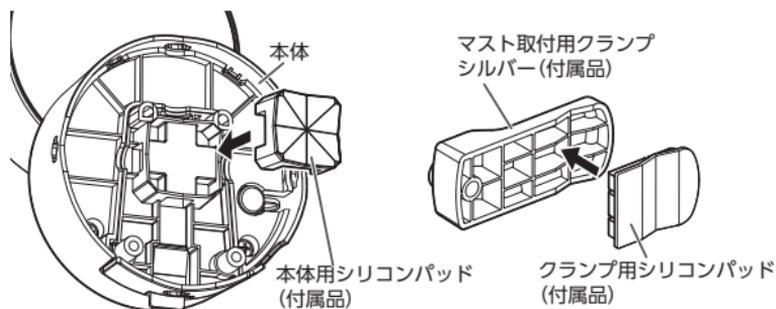
コンクリート面に設置する場合、あらかじめ設置場所にφ6.4mm程度の穴を開け、付属のコンクリートアンカーを打ち込んでから、壁面取付用ネジで固定してください。



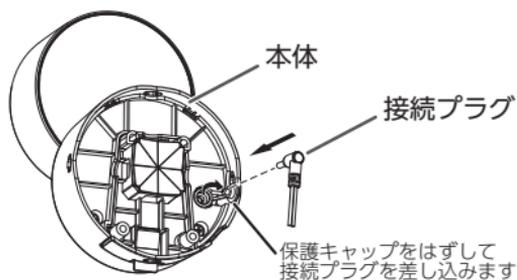
## マストまたは柱に取り付ける場合

[マスト取付用 L字金具およびクランプ]を使用

- 1 本体とマスト取付用クランプ シルバーにシリコンパッドをしっかりと奥まではめ込む

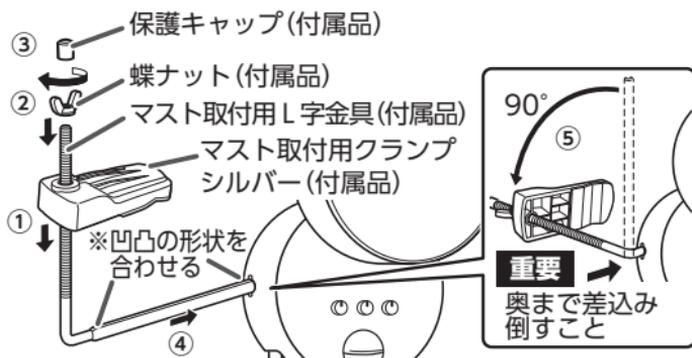


- 2 接続プラグを本体に差し込む

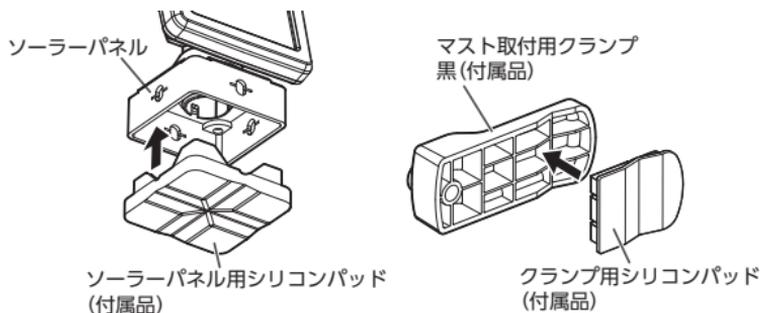


### 3 本体とマスト取付用 L字金具を組み立てる

- ①マスト取付用 L字金具のネジ山側の先端からマスト取付用クランプを下図の向きに挿入する。
- ②同じ場所から蝶ナットが落下しない程度に締め付ける。
- ③保護キャップを先端に取り付ける。
- ④マスト取付用 L字金具の反対側の先端を本体の固定用穴の凹凸形状に合わせて反対側の固定用穴から突き出るまで挿入する。
- ⑤本体に挿入したマスト取付用 L字金具は 90° 倒す。

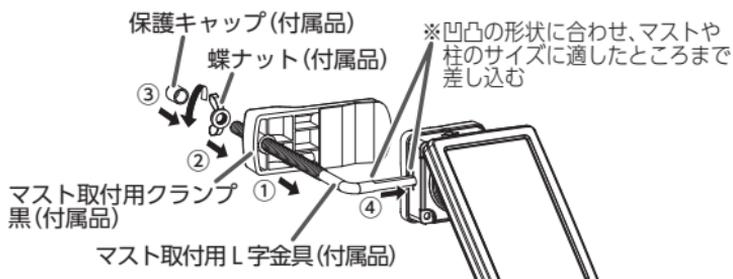


### 4 ソーラーパネルとマスト取付用クランプ 黒にシリコンパッドをしっかり奥まではめ込む



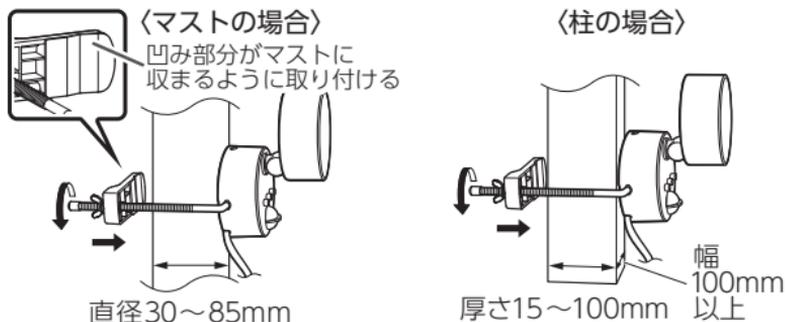
## 5 ソーラーパネルとマスト取付用 L字金具を組み立てる

- ①マスト取付用 L字金具のネジ山側の先端からマスト取付用クランプを下図の向きに挿入する。
- ②同じ場所から蝶ナットが落下しない程度に締め付ける。
- ③保護キャップを先端に取り付ける。
- ④マスト取付用 L字金具の反対側の先端をソーラーパネルの固定用穴の凹凸形状に合わせて反対側の固定用穴から突き出るまで挿入する。



## 6 マストまたは柱に取り付ける

本体およびソーラーパネルとマスト取付用クランプでマストまたは柱を挟み、シリコンパッドが接触するように取り付け、落下しないように蝶ナットをしっかり締め付けます。  
(下記の手順は、本体の取り付けを記載していますが、ソーラーパネルの取付方法も同じです。)



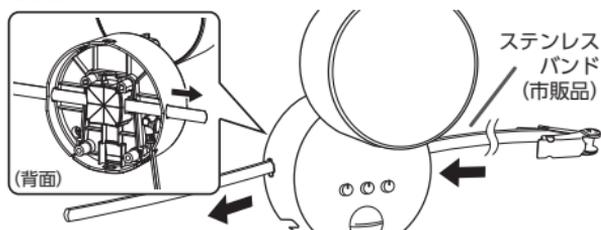
※直径 30～85mmのマスト、または幅 100mm以上 / 厚さ 15～100mmの柱に取り付けることができます。

## [ステンレスバンド]を使用

L字金具を使用できない場合は、市販のステンレスバンド(10mm幅)を使用します。

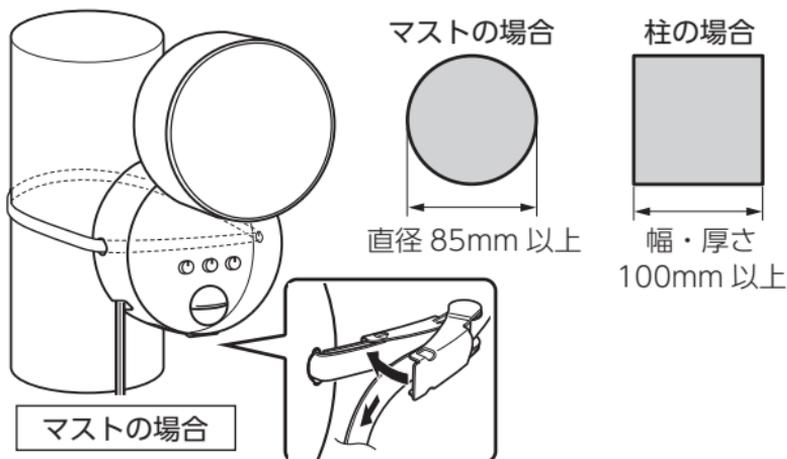
(下記の手順は、本体の取り付けを記載していますが、ソーラーパネルの取付方法も同じです。)

- 1 本体およびソーラーパネルにシリコンパッドをしっかりと奥まではめ込む (詳細は➡ 27ページ、28ページ)
- 2 本体およびソーラーパネルの固定用穴にステンレスバンドを通す



## 3 マストまたは柱に取り付ける

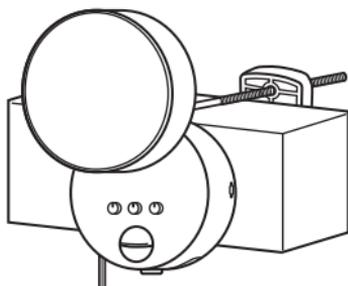
ステンレスバンドをマストまたは柱に巻き付け、シリコンパッドが接触するように取り付け、落下しないようにしっかり締め付けます。



## 横向きのマストまたは柱に取り付ける

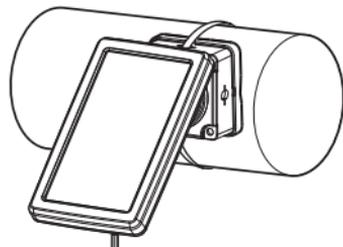
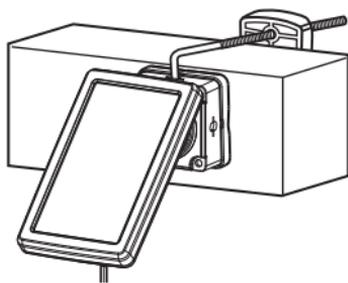
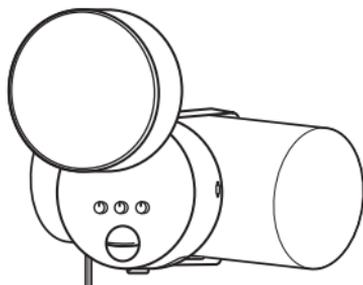
### 柱に取り付ける場合

➡マスト取付用 L字金具を使用してください。(ご注意: 金具を上から通して使用してください。)



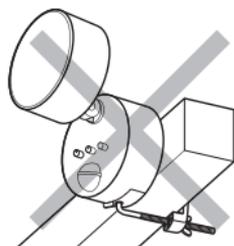
### 手すりまたはベランダに取り付ける場合

➡ステンレスバンドを使用してください。



### 重要

右図のようにマスト取付用 L字金具を下から挿して使用しないでください。



# 機能の設定

## 点灯開始照度(明るさ感度)の調整

点灯開始照度とは、センサーが検知を開始する明るさの感度(周囲の明るさのレベル)です。調整できる点灯開始照度の範囲は、日没後または日の出前の暗さ～昼の明るさです。ご使用の環境に応じて、お好みの明るさで点灯するように調整してください。

LUXツマミを使用して点灯開始照度を調整します。

暗いときに点灯させる	ツマミを「☾」側に回す
明るいときに点灯させる	ツマミを「☀」側に回す

(初期設定: ツマミを「☀」へいっぱいに戻した位置)

「☾」側のときは、周囲が暗くなってから点灯します。昼間などの明るい時間帯は点灯しません。「☀」側のときは、周囲が明るくてもセンサーが人を検知すると点灯します。「☀」の位置に設定した場合は、昼間など明るい時間帯でも点灯します。



## フラッシングモードの設定

フラッシングとは、LEDライトが消灯した状態でセンサーが人や動くものを検知すると、最初にLEDライトが点滅(約5秒)する機能です。

FLASHツマミを使用してフラッシングを設定します。

フラッシングをしない	ツマミを「OFF」の位置に合わせる
フラッシングをする	ツマミを「ON」の位置に合わせる

(初期設定: ツマミが「ON」の位置)  
検知エリア内で人が動き続けて消灯前に再検知した場合は、連続点灯する時間が延長されます。



## 点灯時間の設定

点灯時間とは、LEDライトが点灯してから消灯するまでの時間です。設定できる点灯時間は、OFF、5秒、10秒です。

**TIMEツマミを使用して点灯時間を設定します。**

消灯	OFFに切り換える
点灯時間を短くする(約 5秒)	ツマミを 5秒に切り換える
点灯時間を長くする(約 10秒)	ツマミを 10秒に切り換える

(初期設定: OFF)

おおよその設定です。検知エリア内で人が動き続けると、センサーが再検知して点灯時間は延長されます。

※満充電時の点灯回数の目安

5秒点灯: 約 1000回

10秒点灯: 約 500回



## 検知範囲の調整

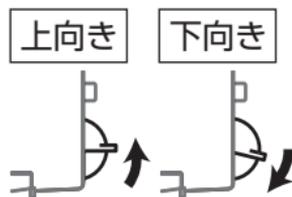
センサー部の向きを調整することで検知エリアが変わります。検知範囲とは、センサーが検知を開始する範囲です。動体(人や動物)を検知させたいエリア内をカバーできるように、検知エリアを調整します。ご使用の環境に応じて、調整してください。

**重要**

使用環境の温度によっては、センサーの検知範囲が下記のイラスト「センサー検知範囲」よりも極端に狭くなることがあります。一度、検知範囲を調整しても、使用環境の温度(時間、季節など)が変化したときは、センサーの検知範囲も変化することがあります。

センサー部の向きを変えて調整します。

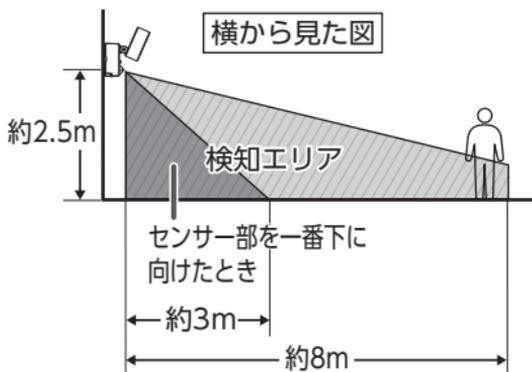
検知エリアを狭くする	センサー部を下向き
検知エリアを広くする	センサー部を上向き



**重要**

検知エリアの距離は調整できますが、  
検知幅は調整できません。

### センサー検知範囲



はじめに

設置

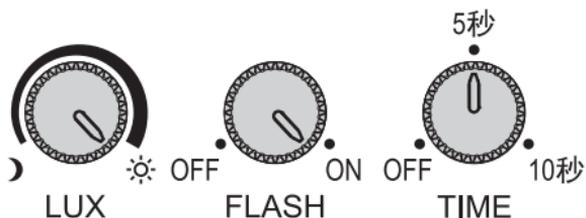
動作／  
設定

その他

# 動作テスト

## 1 接続プラグを本体に接続し初期充電を行う

- ①初期充電を行う前にTIMEツマミをOFFに切り換えてください。
- ②初期充電完了後にTIMEツマミを5秒に切り換えてください。  
ツマミを下図の設定にします。



## 2 動作テストを行う

検知エリア内を歩いてライトが点灯することを確認します。

# 故障と判断する前に

故障と判断する前に、次の点を確認してください。  
気温や天候などの気象条件の変化により、センサーがまれに誤動作することがありますが、故障ではありません。  
時間をおいて再度確認してください。

症状	確認内容	対処方法
人がいるのに点灯しない (急に点灯しなくなった)	充電時間が不足している	TIMEツマミをOFFの位置にして充電(晴天時に2日以上)を行ってください。
	点灯時間が OFF になっている	TIMEツマミを5秒または10秒の位置にしてください。
	人が検知エリアに入っていない	センサー部の調整(➡ 33 ページ)、取付場所の変更(➡ 20 ページ)をしてください。
	人が動いていない	検知エリア内に人がいても、人が動かないと点灯しないことがあります。
	人が正面から近づいている	センサーに対して人が正面から近づくと、検知しにくくなります。できるだけ検知エリアを横切るように取り付けてください。

症状	確認内容	対処方法
人がいるのに 点灯しない (急に点灯し なくなった)	寒いときや雨が降っているときで、人がマフラーや傘などで覆われている	センサーは人の動きによる温度変化を検知するため、温度変化が小さい場合は検知しないことがあります。センサー部の調整(➡ 33 ページ)、取付場所の変更(➡ 20 ページ)をしてください。
	夏季など周囲の温度と人の表面温度との差が少ない	
	人が非常にゆっくりとした速度で検知エリアに進入している	
	検知エリアが遮られている	センサーの前にガラスや壁などの遮へい物があると人を検知できません。センサー部の調整(➡ 33 ページ)、取付場所の変更(➡ 20 ページ)をしてください。
	周囲が明るい(夜でも周囲に街路灯などの照明器具がある)	点灯開始照度を調整してください。 (➡ 32 ページ)
人がいるのに 消灯する	人が動いていない	検知エリア内に人がいても、人が動かないと点灯しないことがあります。
	点灯時間が短い	点灯時間を変更してください。 (➡ 33 ページ)
	人が検知エリアに入っていない	検知範囲の調整(➡ 33 ページ)、取付場所の変更(➡ 20 ページ)をしてください。

症状	確認内容	対処方法
人がいないのに消灯しない (点灯したままになる)	何らかの物体をセンサーが検知し続けているため、点灯時間が延長されている	センサー部の調整(➡ 33 ページ)、取付場所の変更(➡ 20 ページ)をしてください。
人がいないのに点灯する	検知エリア内に木や旗、通行する車両などの動くものがある	検知エリア内に動くものがあると、検知して点灯することがあります。(検知エリア内に犬や猫などが入っても点灯することがあります。)動くものを取り除くか、センサー部の調整(➡ 33 ページ)、取付場所の変更(➡ 20 ページ)をしてください。
	検知エリア内に熱源や風を出すものがある	検知エリア内や本体付近に熱源や風を出すもの(エアコンの室外機、換気扇など)があると点灯することがあります。障害物を取り除くか、センサー部の調整(➡ 33 ページ)、取付場所の変更(➡ 20 ページ)をしてください。

症状	確認内容	対処方法
人がいないのに点灯する	検知エリアの延長線上に動くものがある	熱源となる大きなもの(車など)が検知エリアの延長線上を通過すると、検知することがあります。周囲の温度によって検知距離が変わることがあります。センサー部の調整(➡ 33 ページ)、取付場所の変更(➡ 20 ページ)をしてください。
	風や車両の通行で、本製品を取り付けている柱などが振動している	振動の影響を受けないものに取り付けてください。
昼間なのに点灯する	点灯開始照度が「※」側に設定されている	LUXツマミを「☺」側に設定してください。(➡ 32 ページ)
人がいるのに点灯しない	センサー部に汚れが付着している	汚れを拭き取ってください。(➡ 15 ページ)
	設置後にソーラーパネルの向きが変わっている	ソーラーパネルに太陽光が当たるように向きを調整してください。(➡ 19 ページ)

症状	確認内容	対処方法
LEDライトが点灯したり、消灯したりを繰り返す	本製品の照射方向に光を反射するものがある	反射した光をセンサーが検知して誤動作することがあります。光を反射するものを取り除くか、取付場所を変更してください。
	内蔵充電電池の残量が不足している	TIMEツマミをOFFの位置にして充電(晴天時に2日以上)を行ってください。
点灯してもすぐに消灯する	点灯時間が最小に設定されている	点灯時間を変更をしてください。(➡ 33 ページ)
	内蔵充電電池残量が少ない	充電してください。「初期充電方法」(➡ 16 ページ)

# 仕様

## 本体部

品名	LEDセンサーライト(1灯型)【ソーラー電池式】
型番	DSL05SD1(S)
全光束	500lm
色温度	5000K (昼白色)
照射調節 角度	左方向 180° / 右方向 150° 上方向 45° / 下方向 75°
検知方式	パッシブインフラレッド (PIR) 方式
検知エリア	水平 180°・距離 8mまで (高さ 2.5mに設置時目安)
点灯開始 照度	夜～昼 (LUXツマミにより連続可変)
点灯モード	フラッシングモード: ON/OFF (FLASHツマミにより切換)
点灯時間	OFF/5秒 / 10秒 (TIMEツマミにより切換)
状態表示灯	電池残量少: 5 秒に 1 回点滅 充電時: 低速点滅 検知時: 高速点滅
動作電源	リチウムイオン電池 3.2V1500mAh(電池交換不可)
使用温度範囲	-20～ +50℃ (結露なきこと) (充電温度 0～ +45℃)
保護等級	IP65 (防噴流型)
取付高さ	1.8m～ 2.5m
外形寸法 (H×W×D)	180mm× 111mm× 120mm
質量	400g

## ソーラーパネル部

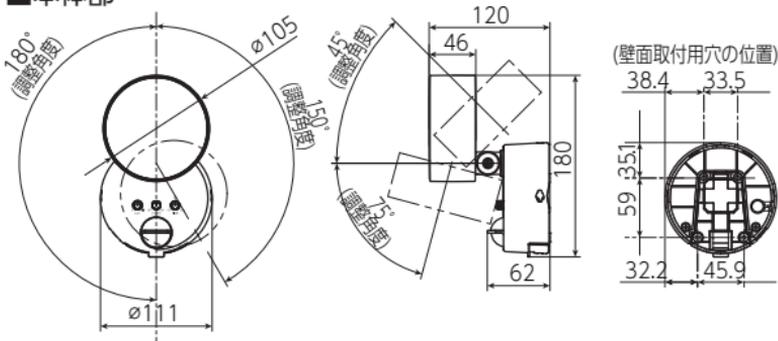
調整角度	垂直方向 108° /回転 360°
出力	5.5V 1W
使用温度範囲	-20~+50°C (結露なきこと)
保護等級	IP65 (防噴流型)
接続コード	5m
外形寸法 (H×W×D)	155mm×81mm×60mm
質量 (接続コード 含む)	180g

※ LEDの交換はできません。LEDが損傷したり、寿命(約 40,000 時間)により暗くなった場合は本体ごと交換してください。個々の LEDにより明るさや色味が異なる場合があります。

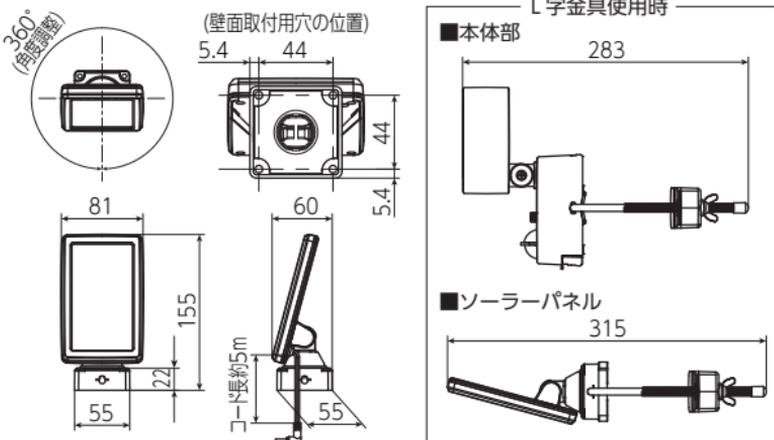
※仕様は改良により予告なく変更させていただくことがありますので、ご了承ください。

# 外形寸法図

## ■本体部



## ■ソーラーパネル



本製品を処分するときは、地方自治体のルールにしたがって処理してください。

製品に関する  
お困りごとを解決！

# Dサポ!

DXアンテナ サポートポータル

スマートフォンで  
各種設定方法が  
わかる➡



ホームページでも初期設定や、各種端末の詳しい手順を確認できます。  
QRコードからアクセスしてください。

[1017]

